



留萌の蜂蜜(ハチミツ)



巣箱の中に板状の巣を作ります



巣箱からとった板状の巣



ハチミツをしぼる遠心分離器



遠心分離器から出てきたハチミツ

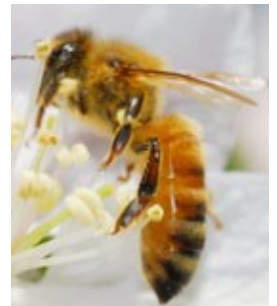
ハチミツを作る仕事を養蜂(ようほう)といいます

養蜂という名のとおり、ハチミツづくりは蜂を育てることから始まります。

留萌の果樹とミツバチは一心同体!

管内の果樹園ではミツバチが大活躍!

花の時期になると果樹園の中に巣箱が置かれ、受粉作業に大忙し!



話題の商品・・・ハチミツ編

(有) まつやま養蜂園



■暑寒天然アカシヤ蜂蜜



■百花
(色々な花の蜜)

鹿児島出身のオーナーがアカシヤを追い求めているうちに、温暖でアカシヤの木が多いこの増毛町に辿り着きました。

以来、鹿児島県知覧町と北海道増毛町を行き来するようになって30年余り。

今では多くの品種の果物を生産できる果樹園として、増毛町の一つの顔として知られるようになりました。



■梅ジュース



■ローヤルゼリー



■プロポリス液



【お問い合わせ】 (有) まつやま養蜂園 〒077-0216 増毛郡増毛町暑寒沢221-4
TEL・FAX ; (0164) 53-3487

～豆知識～ ハチミツ編

ハチミツの採取は、推定紀元前6500年頃のトルコの壁画にそれらしき様子が描かれているなど、新石器時代から行われていたのではないかと考えられています。日本では、日本書紀に養蜂の試みの記述が見られ、江戸時代までミホンミツバチによる養蜂が行われましたが、明治初期からセイヨウミツバチの導入が進みます。大正には養蜂家が全国の蜜源を転々とする日本特有の「転地養蜂」が確立されていきました。

現在では、ハチミツ生産は減少傾向にありますが、いちごやメロンの栽培の花粉媒介用としてミツバチの働きが見直されています。